

本号がお手元に届く頃は梅雨の真っ只中で、その先には夏が待っています。東海道新幹線と同じ年の私が社会人1年生だった25年前は、首都圏でも冷房がない電車が少なからず走っていたことを思うと、現在の電車の冷房化率はまさに隔世の感があります。

本号の特集は「駅」です。この25年間の駅の変化として真っ先に思い浮かぶのは、自動改札とICカード乗車券の普及、「駅ナカ」ビジネスの隆盛でしょうか。鉄道総研の職員も入社当初

にはJR会社のどこかで現業実習を行いますが、私もハサミを持って改札に立った経験があります。今後25年間で、駅には想像もつかない進化があるかも知れませんが、私も鉄道に携わる者、そして1人の利用者としてそれを見届けたいと思います。

次号の特集は「ブレーキ」です。地上を移動する乗り物の基本機能は「走る・曲がる・止まる」ですが、そのひとつを担うブレーキに関して、鉄道総研の研究開発を紹介します。ご期待下さい。(A.S.)